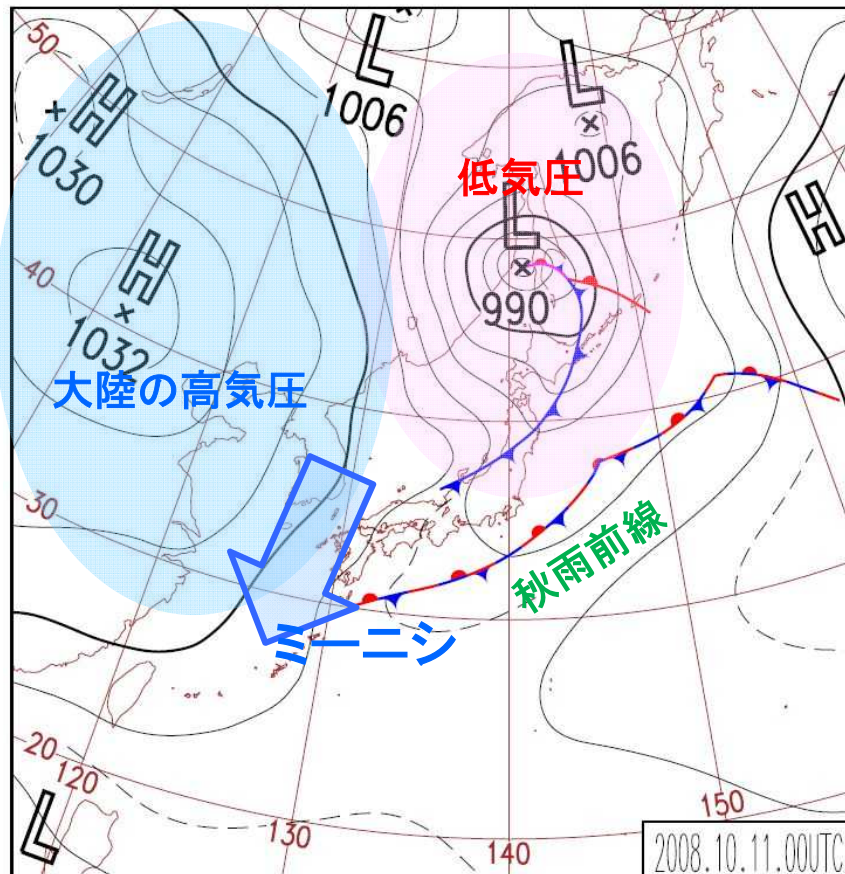


## コラム②：ミーニシ（新しい北風）

秋になると、低気圧と高気圧が、交互に日本付近を西から東へ通過します。このため、あたたかくなったり、冷たくなったりを繰り返しながら、気温は次第に低下します。10月ごろには、秋雨前線が九州の南側に南下します。その秋雨前線に向かって、大陸の高気圧から季節風が吹きますが、その時期はじめての季節風（北風）を沖縄ではミーニシ（直訳すると「新しい北風」）と呼びます。この時期は、「寒露の節」（沖縄で昔から四季の特性をあらわすのに用いられてきた二十四節気の一つ）にあたり、サシバ（写真）が南下します。その後、北東風が安定に吹き、気温も更に下がり、沖縄地方は冬に向かいます。

平成20年10月11日9時



天気図の説明（ミーニシ（新しい北風）のころ：平成20年10月11日）  
中国には大陸の高気圧、北海道付近には低気圧があり、日本付近は、一時的に「西高東低」の冬型の気圧配置となっています。沖縄地方には、大陸の冷たい高気圧から季節風が吹きました。

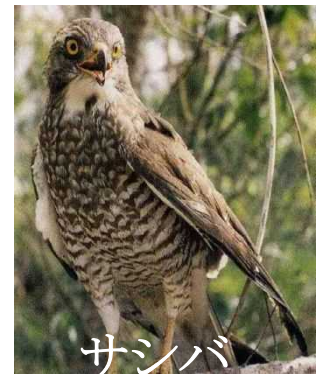


写真 冬を東南アジアで過ごすため、10月になると本土から大群で飛来します。



気象庁マスコットキャラクターはれるん

沖縄气象台提供